

①

イメージキャラクターの考案（それぞれの班で考えたコンセプト）

※同じ位置のイラストを確認してください。

①JAXA 相模原
②けやきの木
③相模原の緑

①中華街
②江の島水族館
③相模原の紫陽花

①県の木イチョウ
②県の鳥カモメ
③相模原の紫陽花

①県の鳥カモメ
②リニア
③車掌さん

①県の木イチョウ
②県の花やまゆり
③相模原の鳥ひばり

①京谷好泰さん
②神奈川ブルー
③相模原の緑

①中華街
②リニアかぶり物
③パンダ

①相模原の紫陽花
②中華街
③相模原の緑

①赤レンガ
②ランドマークタワー
③リス

①神奈川の地形
②速さのイメージ
③さがみんの仲間

①県の鳥カモメ
②港町
③県の木イチョウ

①神奈川の地形
②磁石
③県と犬をかけた

リニア中央新幹線神奈川県駅のイメージキャラの考案（授業展開）

- ・ 授業回数 2 回（＋放課後＋自宅学習※ロイロノート生徒間通信機能活用）
- ・ 総合的な探究の時間における地域研究テーマ（リニアモーターカー）とリンクさせた授業展開
- ・ 課題：リニア神奈川県駅（仮称）として「神奈川県」のイメージからデザインされたもの
- ・ 1時間目 ⇒ グループ（3人）でコンセプトを3つ決定してからデザインに着手（50分）
- ・ 2時間目 ⇒ デザインの清書とロイロノート提出（25分）＋1分間で発表（25分）
- ・ 先生2人をクライアントに見立てて、プレゼンという形で発表、上位3位までをその場で決定した

コンセプトを決めてからデザインを考える（授業内容）

私自身が、もともとデザイン関係の仕事をしており、必ずデザインには理由があることを理解して欲しかったことから、「コンセプトを必ず決めてからデザインに着手」させました。このコンセプトがデザインとして表現されることが「情報の表現」として、今回の授業を考えました。コンセプトは必ず3つ挙げることが課題となっており、そのコンセプトがデザインの「色」、「形」へ必ず活用されていることを期待しました。

● コンセプトを印象付けたデザインとして表現ができたか？（生徒作品）



本校でのロイロノートの活用

本校では他教科の授業でも、「プリント＋ロイロノート」のようにアナログな作成手段と、ロイロノートによるデータの生徒間共有などをミックスした形式での課題作成が定着（流行り？）しています。今回の授業では、イラストが描きやすいという理由から、12色カラーペン（教科で購入）を使用して描いた原画を撮影し、画像データとして提出する方法を選択しています。